藤里第２区
見守り・困りごと支援活動
（江刺・藤里地区）

基 本 情 報

代表者	小沢　光義（みつよし）さん（行政区長）
体制	委員７名 代表１名、事務局（自治会会計）１名、分館長１名、民生児童委員１名、 藤里振興会社会福祉部員（兼ご近所福祉スタッフ）１名、 藤里振興会老年部員２名（男女各１名）
連絡窓口	菊地　さよさん（民生児童委員）
活動内容	地域の見守り、地域の困りごと支援、ござえん茶（年４回）など
対象者	藤里第２区の住民 （人口 184 名　世帯数 77 世帯　高齢化率 50.0%　令和２年９月末日現在）
開催場所	藤里第二区部落館（自治会館）←地域の方は分館と表現（以下、分館）
開催頻度	コロナの影響で曜日を決めて定期開催とはいかず、電話で確認を行うことが多かった。必要に応じて開催。
活動費	自治会費　＋　地域セーフティーネット会議助成金

活動をはじめた「きっかけ」と「経緯」

□平成 30 年：菊地民生児童委員が 80 代女性の同居の嫁から相談を受けていた。しばらくして 80 代女性は一人暮らしになり、地域での見守りが必要と感じた。その際、プライバシーに関わる誰彼に話せない内容を話し合う場が必要だと現メンバーに声がけをし、話し合いと地域の見守りを始めた

□平成 31 年：社会福祉協議会（以下、社協）が推進している「地域セーフティーネット会議（以下、ネット会議）」が、取り組んでいる内容に一致すると捉え、ネット会議として登録した

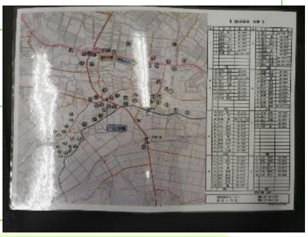
※その他活動として、ふれあい・いきいきサロン「ござえん茶」を開催。ネット会議を始める前から活動していた地域の集いの場であり、前民生児童委員が始めてから 10 年は経つ活動である。現在は菊地民生児童委員が主で開催しているが、前民生児童委員も人集めとして一緒に参加している。活動費はサロン助成金と振興会老年部からの活動費を活用している。

活動しての菊地民生児童委員の思い

他の地域から「ネット会議で何をしたらいいか分からない」と聞くが、たくさんのことを考えるから集まれないのだと思う。
足元に転がっている問題から取り組むことで活動に繋がっていますし、何より、代表を初め、委員の協力があってこそできていると感じています。

ネット会議での取り組み

取り組み項目/年月日	取り組み内容
◆マスク配布	
令和２年４月下旬 （菊地民生児童委員）	90 代女性から「病院・薬局からマスクを付けるように言われ、売店に行ったが、在庫が無く購入できなかった」と聞き、通院時に付けるマスクが無く困っていることを知る。
５月１日 （ネット会議）	議題にしたところ「マスクを作ろう!!」となり、日頃、マスク作りをしている住民に協力の依頼をすることに決めた
５月３日 （ネット会議）	マスク作りのため声がけをした住民からマスク 100 枚が集まり、77 歳以上の一人暮らし・ご夫婦暮らしの住民 61 名にマスクを配布することに決めた ※ネット会議メンバーで手分けして配布
◆敬老会＜２区かわら版＞	
令和２年７月 22 日 （ネット会議）	敬老会中止に伴い、米寿５名、喜寿４名のお祝いに何かできないかと内容を検討し、かわら版を作成することに決めた
７月 29 日 （ネット会議）	かわら板の原案作り、作業分担（取材：カメラマン・コメント聞き）
８月 19 日 （ネット会議）	・かわら版の編集（取材時の本人の言葉をそのまま使うこととした） ・完成したかわら版は全戸配布することに決めた ※ネット会議メンバーと集落班長（全８班）とで８月中に配布
＜藤里かわら版＞	
令和２年９月	・藤里地区センターから「２区の敬老会かわら版がとても良いので、地区センター発行のかわら版も同じように作成し全戸配布したい」と連絡があった ・２区分は、２区かわら版の写真とコメントをそのまま活用し、２区以外の対象者については、地区センター職員が取材 ※藤里地区のかわら版が全戸配布された際、２区の住民は「おらほでは、もっと先に配布されてたった」と誇らしげに話していた
◆電話番号表	
令和２年９月	ネット会議を分館で開催をする中で、分館に掲示してあった電話番号表がだいぶ古く破けていたことが気になり、各家庭も同じだろうということから、新たな電話番号表をマップ化して作成することにした
９月 28 日 （菊地民生児童委員）	奥州市地域包括支援センターが開催した”奥州市ケアマネジメント支援研修会”に参加した際、グループワークで「マップ作りをしたいと考えている」と話したところ、講師の岩手県立大学社会福祉学部・菅野道生(みちお)准教授がネット会議を見学することになった
11 月５日 （ネット会議）	社協の防災福祉マップを活用し、地図と電話番号を合わせて作成 （菅野准教授がネット会議を見学）
12 月 20 日 （ネット会議）	電話番号と地図の確認
令和３年１月 10 日 （ネット会議）	完成したマップの確認・配布計画 ※マップはラミネートし保管しやすいようにすることに決めた（ラミネーター：社協にて借用）



～奥州市では活動を取材させていただき、地域での支え合いを見える化してお伝えしていきます～